

1
月



美園小だより

令和8年1月8日
さいたま市立美園小学校
第187号 児童数 1043名
Tel 048(812)6611
Fax 048(878)6660

受け継ぐ

校長 河野 秀樹



<夢や挑戦したいこと
大切にしたいこと>

昨年話題になった大阪・関西万博。行かれた方も多いのかと思います。私が印象に残っているのは、日本館の展示です。作り直すことで永続性を保つ伊勢神宮の式年遷宮のことが、ドラえもんの漫画で分かりやすく説明されていました。三重県にある伊勢神宮は、20年にごとに本殿を造り替えていきます。この行事は1300年も続いている、全く同じものを交互に建て替えるために、五十鈴川上流の広大な森林で木材を自給自足しています。解体で出た古材は橋や鳥居に再利用されたり、全国の神社に譲渡し利用されたりしているということです。それだけでなく、職人の技が次の世代へとしっかりと受け継がれているというのです。

2026（令和8）年になりました。本校は2012（平成24）年4月9日に開校式が行われたので、今年4月で開校15年目を迎えることになります。その記念の年を迎えるに当たり、事前準備として昨年10月には校歌の作曲者である平林龍氏がCDの作成のため本校を訪れ、全校児童の歌う「見えない羽根」を収録しました。そのときの歌声は、昼の放送でも聞くことができました。今後近隣の商業施設で完成発表イベントを行う予定もあります。

11月には「こども宇宙プロジェクト」の取組として、児童一人ひとりが「保育士」「薬剤師」「強い気持ち」「勇気」などの夢や挑戦したいこと、大切にしたいことなどを台紙にしっかりと書いていました。そして、それを掲げた写真をクラスごとに撮りました。この写真は、今年の秋に打ち上げられるロケットに載って国際宇宙ステーションに届く予定です。

また、現在代表委員を中心となって、5月に全校児童で表現する航空写真の入文字のデザインや、開校15年の記念メッセージを含めた横断幕のデザインを決めていきます。

「学校は川、人は水」という言葉を聞いたことがあります。学校という施設や地域に住む方々は川であり、いつまでもそこにあります。学校の教職員は水であり、いずれはそこを離れることになります。水である私たちは、川の流れを絶やさないこと、それを引き継ぐことが大切であると考えます。これまで1,822名の子どもたちが美園小を卒業していきました。それと共に、多くの保護者や教職員も関わってきました。一時期仮設の校舎が建ち、開校当初500名ほどだった児童数が1,400名以上になることもありました。しかし、美園小の校歌「風とみどりと太陽と」や学校の教育目標「笑顔かがやく 美しいな学校」などは変わらず継承されています。これからも、美園小のよき伝統を受け継いでいきたいと思います